

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
21	児童手当の支給に関する事務 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

木祖村は、児童手当の支給に関する事務における特定個人情報ファイルを取扱うにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

なし

評価実施機関名

木祖村長

公表日

平成32年5月29日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	児童手当の支給に関する事務
②事務の概要	児童手当法等の規定に則り、対象者の資格管理、現況受付、支払管理、統計処理等を行う。 特定個人情報ファイルは、以下の場合に使用する。 ①児童手当又は特例給付の認定請求書の受理 出生、転入時に認定請求書、住民票、受給者及び配偶者の所得証明書を受理(村内者については、公簿で確認)。 審査後に決定通知書の発送 ②児童手当又は特例給付の額改定請求書の受理 請求書、住民票、受給者及び配偶者の所得証明書を受理(村内者については、公簿で確認)。 審査後に決定通知書の発送 ③児童手当又は特例給付の現況届の受理 現況届、保険証の写しの受理 審査後に決定通知書の発送。 ④児童手当又は特例給付の消滅届の受理及び審査、決定通知書の発送 ⑤児童手当及び特例給付支給処理 受給者に対し、6月、10月、2月の3期に分け、児童手当を支給。 支給時に支払通知書を送付。 ⑥職権による支給事由消滅処理 公簿等にて支給事由が消滅したと確認できた場合、職権にて支給事由を消滅することができる。
③システムの名称	児童手当システム 住民記録システム 個人住民税システム
2. 特定個人情報ファイル名	
児童手当受給者ファイル 児童手当児童ファイル 住民基本台帳ファイル 本人確認情報ファイル 送付先情報ファイル 住民税賦課情報ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	番号法第9条第1項、別表第一の第56項並びに内閣府・総務省令第44条
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	[実施する] ＜選択肢＞ 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
②法令上の根拠	別表第二における情報照会の根拠 番号法第19条7号、別表第二の第74項並びに内閣府・総務省令第40条 別表第二における情報提供の根拠 番号法第19条7号、別表第二の第26、30、87項 並びに内閣府・総務省令第12条、第19条、第44条 ※別表第二の第30項に係る主務省令は未公布
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	住民福祉課
②所属長の役職名	住民福祉課長
6. 他の評価実施機関	
なし	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	木祖村住民福祉課 長野県木曾郡木祖村大字藪原1191-1 電話:0264-36-2001(代表)
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	木祖村住民福祉課 長野県木曾郡木祖村大字藪原1191-1 電話:0264-36-2001(代表)

II しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人か	[1万人以上10万人未満]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	平成32年4月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	平成32年4月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 []委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) []提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 []接続しない(入手) []接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 監査		
実施の有無	[] 自己点検 [○] 内部監査 [] 外部監査	
9. 従業者に対する教育・啓発		
従業者に対する教育・啓発	[十分に行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない

